

2024年度第1回育成料のあり方検討部会の開催結果について

1 概要

- (1) 日時 2024年5月21日（火）18時00分から19時45分まで
- (2) 場所 市庁舎2階 会議室2-2
- (3) 内容 議題2件
- (4) 出席 委員8名、事務局4名、傍聴者0名

2 議題

議題1 育成料のあり方について

議題2 意識調査の項目について

事務局説明	【議題1について】 資料6に基づき、次の内容を説明し、町田市の学童保育クラブの現状について共有を図った。 ○ 町田市の学童保育クラブとは 入会できる児童、入会できるクラブ、開所日・時間、特別保育（延長）時間、費用 ○ 学童保育クラブでの生活 ○ 基本的な考え方 全入制度、高学年選考、育成スペース、人員配置、障がい児にかかる職員加配 ○ 入会児童数の現状 ○ 育成料の現状 これまでの育成料の見直し、受益者負担割合の考え方、他市との比較 【議題2について】 市民の意識調査を行うため、資料7に基づき次の内容を説明した。 ・ 調査対象は、市内の小学生（約2万人）の保護者とする ・ 実施方法は、Web回答とし、7月にアンケートフォームを開設する ・ 周知方法は、広報まちだ7月1日号及び公立小学校の保護者に
-------	--

	は「学校・保護者間連絡アプリ（t e t o r u）」を使用して通知する ・アンケート案の設問（計８問）について説明した
主なご意見	【議題１】について 委員からの質問事項 ■ 学童保育クラブについて ・ 障がいのある児童には、何人に対して職員が何人加配されるのか。 ・ 町田市は、子どもクラブはじめ、子どもの居場所が多い自治体で、上手く「まちとも」を使っている家庭もあると思うが、夏休みがないのが難点である。 ・ 職員２人で４０人の児童を見るのは相当負担がかかるので、育成料を上げるのであれば、人員を増やす方向も必要である。 ・ 待機児童はいないとのことだが、逆に定員に対してすごく少ない状況のクラブはあるか。 ・ 延長保育を利用している人数はどのくらいいるか。 ■ 育成料について ・ 「同一世帯２人目以降」が３，０００円と１，５００円に分かれている理由は。 ・ 「同一世帯２人目以降」に減額している理由は。 ・ 育成料を月額９，０００円にした算出根拠は。 ・ 応能負担の世帯区分は、他の制度で使われている区分なのか。 ・ 「おやつ代」や「父母会費」は育成料とは別に徴収されているが、学童保育クラブごとに差があるのか。 ・ 特別保育料に上限があるということは、毎日使っていても同額であるということか。 【議題２について】 ■ 意識調査の内容について ・ 「育成料」という言葉が一般的ではないので、「育成料（利用料）」と記載したほうが伝わりやすい。

	・設問４（育成料の見直し額について）の設問が分かりづらく、意味が伝わらないのではないか。 ・学童保育クラブを利用していない人には回答しづらいので、「そもそも利用していないから分からない」という回答の選択肢を作ってはどうか。 ・何を目的にアンケートを取るのか、市に確認したい。 ・選択肢に「その他」を入れた方がいい。 ■ 育成料について ・ 育成料の上限 9,000 円を変えずに、その減免の制度を見直すのはどうか。 ・ 町田市が子育てに優しい町として、町田市を選んでもらう上で、他市と比較し育成料が最高額というのがネックになるのではないか。
総括	今回の議題では、町田市の学童保育クラブや育成料に関する現状について、意見交換や認識共有をする場になった。 今後、市民への意識調査の結果を踏まえて、育成料のあり方について検討を進めていく。

3 今後のスケジュール

7月3日～17日 意識調査の実施

8月21日 第2回育成料のあり方検討部会（意識調査の速報報告）

10月中旬 第4回子ども・子育て会議（意識調査の結果報告）